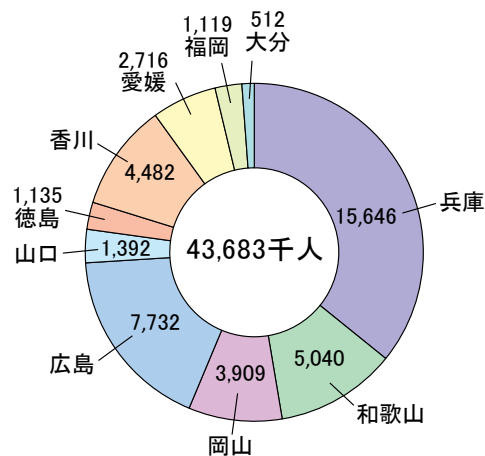


1 瀬戸内海の概況

表 1-11 利用者数の多い国立公園(平成 28 年)

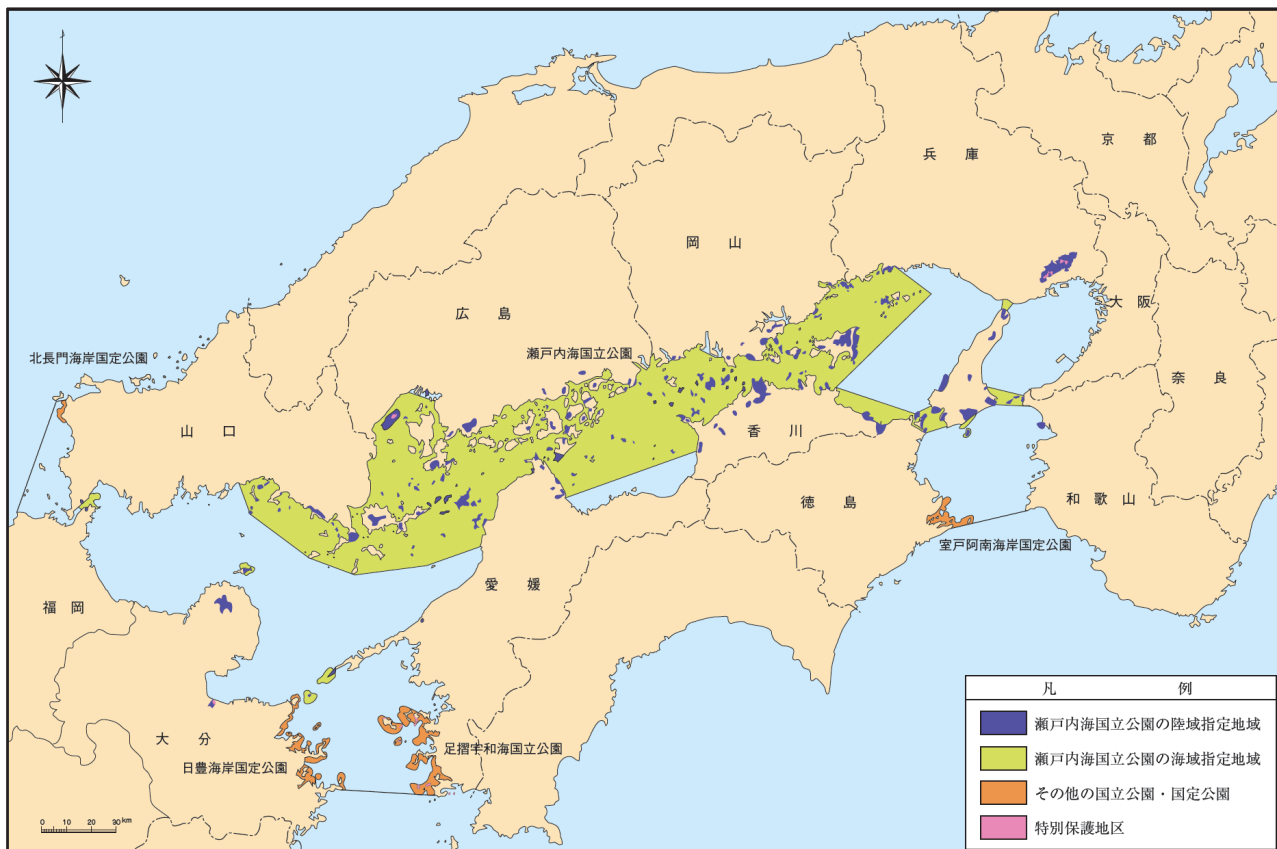
順位	公園名	利用者数 (千人)	国立公園全体に 占める利用者数 の割合(%)	平成27年 位
1	富士箱根伊豆	127,841	35.6	1
2	瀬戸内海	43,683	12.2	2
3	上信越高原	21,803	6.1	3
4	日光	15,803	4.4	5
5	秩父多摩甲斐	13,810	3.8	6
6	吉野熊野	13,503	3.8	7
7	阿蘇くじゅう	13,295	3.7	4
8	大山隠岐	13,081	3.6	8
9	霧島錦江湾	11,360	3.2	9
10	支笏洞爺	11,168	3.1	10
上位10国立公園の合計		285,347	79.4	
34国立公園全体の合計		359,160	100	

出典：「自然保護各種データ」(環境省資料)より作成



瀬戸内海国立公園県別利用者数(平成 28 年)

出典：「自然保護各種データ」(環境省資料)より作成



- 注) 1. 「瀬戸内海」沿岸域の国立及び国定公園を図示した。
 2. 特別保護地区は「瀬戸内海」海域に係わる地区のみを図示した。

出典：環境省資料より作成

図 1-7 主要自然公園配置図